

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【京都府立丹波支援学校】

1 実践テーマ	【 III・V 】
2 実施対象者	丹波支援学校の中学部・高等部生徒 100名 京都学園大学健康スポーツ学科の教員・学生 30名 □丹地域 府立・私立高校生 30名 新規採用者 他校種研修の本校への参加者 10名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（体育・総合的な学習の時間） ② 行事名（□丹地域の高等学校生との交流会） ③ その他（新規採用者の研修） (2) 地域における活動 ① イベント名（南丹市 心のバリアフリー事業） ② その他（京都府立特別支援学校 ボッチャ交流会）
4 目標 (ねらい)	(1) 障害者への理解を広げ、共生社会の一員を育成する。 (2) スポーツを通して自己肯定感を高める。 (3) 校区の高校生、大学生との交流を進める。
5 取組内容	(1) 京都学園大学健康スポーツ学科の教員・学生との交流会(6/21、11/14)、□丹地域の高等学校生との交流会(11/17)、でスポーツ・障害者スポーツ（ソフトボール・サッカー・ボッチャ・ドッチビー・ころがし卓球・キックベースボール等）を取り組んだ。 (2) 新規採用者の研修や寄宿舍生の冬季の室内スポーツの中で、ボッチャを紹介・体験させ、チーム毎の作戦タイム時に作戦板を活用した（3学期）。  各交流会の様子 (3) 南丹市 心のバリアフリー事業に参加しボッチャを紹介し本校生徒が模範プレイを行った。京都府立特別支援学校 ボッチャ交流会（6/30）に参加し団体優勝をした。

		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>京都府立特別支援学校 ボッチャ交流会 於 南山城支援学校</p> </div>
<p>6 主な成果</p>	<p>(1) パラリンピック種目を体験し、周知することにつながった。  (2) 支援学校における効果的な体育の指導方法を学び体験することで指導方法の幅が広がった。  (3) 他者を認め合う力が向上し、同時に自己肯定感が高まった。</p>	
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>(1) 上記の取組を随時本校のホームページに掲載及び学校だよりや新聞報道等の広報を通じて学校外にアピールした。  (2) 結果や様子を全校集会で紹介するなどして、学部やグループの取組を全校に紹介した。  (3) 事業後、アンケートの記入や感想を聞くことで来年度への申し送りを行った。</p>	
<p>8 主な課題等</p>	<p>重度生徒対象の取組を増やす必要がある。</p>	
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>今年度の取組は全て成果があったため、更に内容を充実、発展して定着していく。</p>	